

北海道農政部農村振興局農村設計課主催
農村ツーリズム(農林漁業体験型教育旅行受入)懇談会

地域ぐるみによる教育旅行受入事例

～宗谷・道北エリアでの受入れ～

2024.2.16
札幌第2水産ビル4F

有限会社アグリテック
代表取締役社長 中田浩康

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社アグリテック

宗谷・道北エリアでの「聖隷クリストファー高校(静岡県)」の受入れ

きっかけは修学旅行の行事が12月に変更となり、
酪農専業地域での受入れを地域とともに検討した

■受入れの経緯

●2014年10月 旭川エリアにて1泊2日の
ファームステイ体験を実施(22戸90名)
※台風の影響で飛行機が遅れ、夜中10:00頃に旭川の到着。
1泊のわずかな滞在時間であったが学校にとっても充実した
体験だったという声をいただく。

●2016年 修学旅行が12月に変更
学校からこの時期に北海道でファームステイ体験ができた
らと相談いただく。ちょうど宗谷エリアでも教育旅行の機運
が高まっており、受入れに向けて打診し、振興局、市町村
JA等と連携し調整。

●2017年 宗谷エリアにて受入れが実現
振興局、市町村、JAと連携し36戸124名の受入れ

以降継続的に受入れを実施

- 2018年 27戸96名
- 2019年 33戸113名
- 2020年～2022年 コロナの影響で中止
- 2023年 22戸81名(4年ぶりの受入れ)

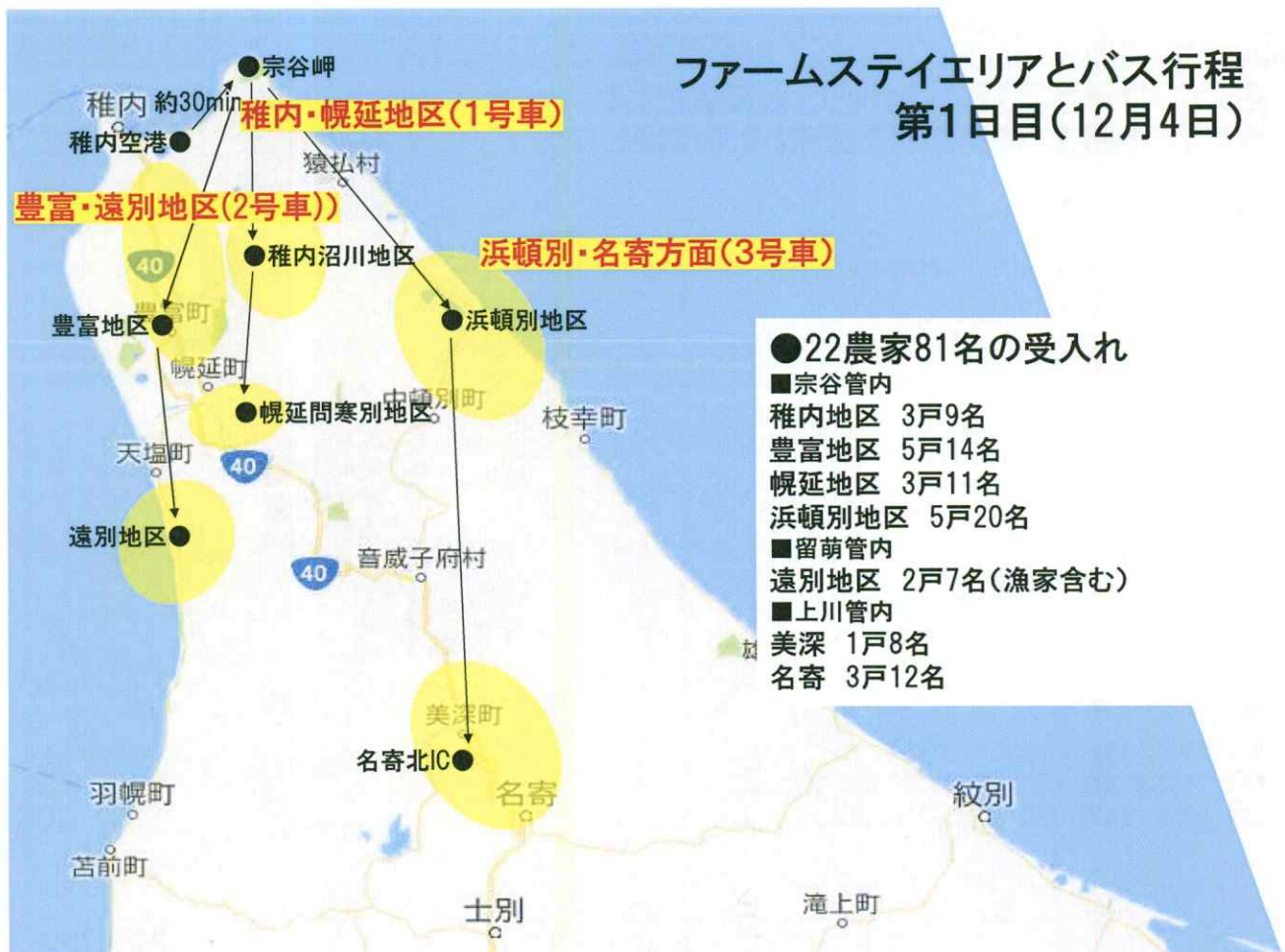
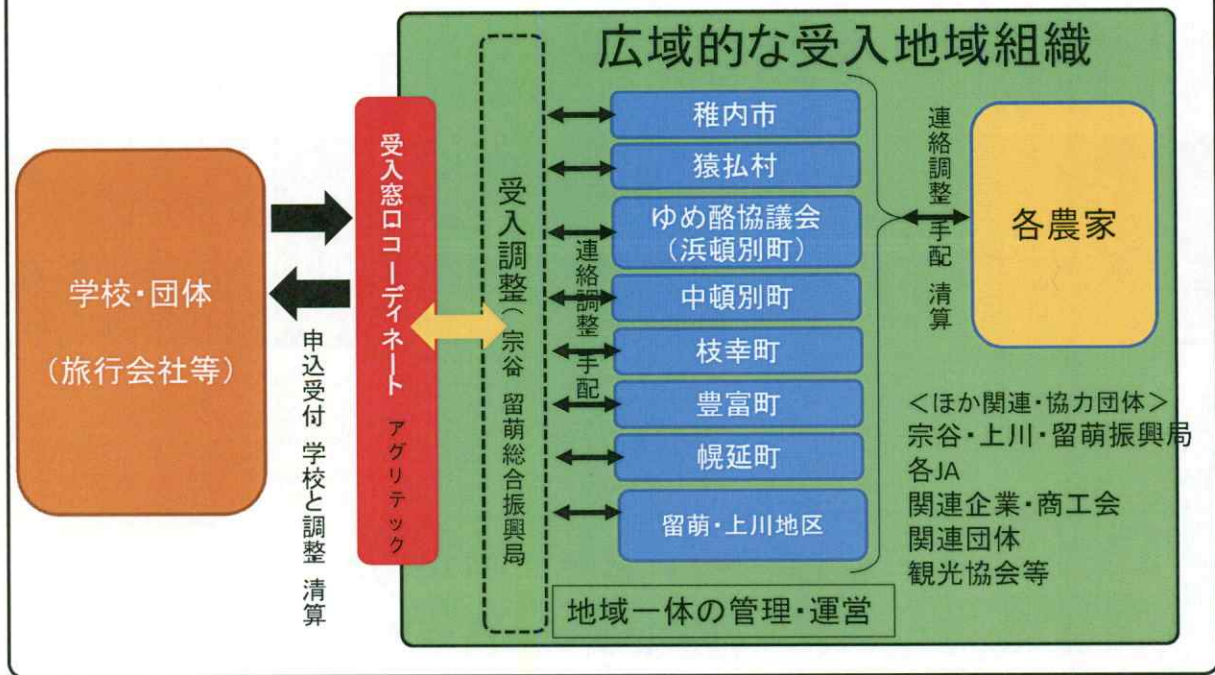


Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

有限会社アグリテック

広域連携による受入れ

教育旅行の受け入れを円滑に進めていくため各市町村単位での受入組織・受け入れ担当者等と調整をおこないながら、受け入れをおこないます。



該当校の先生のお話し

2017年より宗谷・道北エリアにて、ファームステイ体験を実施。修学旅行にファームステイ体験を取り入れる理由について先生からのビデオメッセージより。



これまでの修学旅行はバック旅行(買い物旅行)のようだった。

行ったことがないところ、これまで経験したことのないこと。その土地でしかできないこと。

冬の北海道のリアルな体験をするというのがそれこそが目的。

高校生のいまでないとできない体験を。

日本の最北端から南に下ってくる北海道縦断の旅行はなかなかできない貴重な経験。

これを実現できたことは感動しかない。

生徒からのお礼状

▲▲▲ 様
この度は、大変お世話になりました。学校でこの様にお礼状を書く機会がありましたので、もう一度感謝の言葉を伝えさせていただきます。
今日は民泊をさせていただく中で、稚内の魅力を知ったり、普段できない体験を行うことができ、とても良い経験になりました。実際に酪農家の皆様と同じような生活をする中で、新たな視点を見つめることができましたと思います。
もし機会がありましたら、浜松へ足を運んでいただけると嬉しいです。
繰り返しになりますが、ご多忙中、私達を受け入れていただきありがとうございます。ご返事ありがとうございました。

今回の民泊では、とてもお世話になりました。一回も金のかかるお出かけなのに無料で体験できて本当にお得でした。おかげで、他の人達のおかずで体験することのできる貴重な機会になりました。本当にありがとうございました。また、お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。

お話し中、知識を習ってくれてありがとうございました。3日間という短い期間でしたが、とても楽しく過ごすことができました。初日の北海道で慣れない環境の中、過半数は私たちがガイドがなければ、面白くないと思います。とても楽しく最高の思い出になりました。浜松では雪が降らなくて良かったので、雪遊びができて嬉しかったです。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。

二日間の民泊の体験をさせて頂きありがとうございました。この二日間で、普段の生活では味わえないような事を経験することができました。とても感謝しています。浜松は、雪が全然降らず、寒いと感じたので、非常に寒い北海道の冬は、非常に新鮮で外の景色を見ているだけでも楽しかったです。
お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。
民泊では体験できなかったことたくさんありました。本当に貴重な機会でした。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。

生徒のアンケート

問11.ファームステイ体験を通して学んだこと、気づいたこと、また感じたことなど自由に書いてください(実施前と実施後の印象や感想など)。

普段はできない作業などの活動を通して、生き物の大切さ、命の大切さが分かりました。
動物は人間と同じだということ。

動物が命にいらるって、
命の大切さと学んだ。

自分達が普段飲んでいる牛乳などの乳製品が、どういった軽いや作業
があまり手に入っているのかを知れた。

人間と家畜の信頼関係

酪農の楽しさやおもしろさを知った。

動物と接するのが楽しさと仕事を終えたあとの達成感を感じることができた。

動物に命を寄せた暑さには、大変だけれど
やりがいがあった。

農業がどれ程大変なことかよく分かりました。

これから初対面の人と関わりをもつことが多くなるのでこういった体験は社会に役立つ
と思われ。

他人の家での礼儀や友達との協力の大切さ。改めて命の尊さを感じる事が出来た。

食への大切さや
他人とも大切にしてくれ
ファームステイの大切さを知

自分の生活には余裕がなくなったと気付いた。

課題

- 受入れ体制
- 受入れ農家の掘り起こし
- 受入れ人数とキャパ
- 地理的条件
- そのほかのアクティビティ

プロフィール



有限会社アグリテック 代表取締役社長
体験型観光プランニングコーディネーター
・地域力創造アドバイザー(総務省)
・地域再生マネージャー(ふるさと財団)
・(一社)ひがしかわ観光協会理事
・講演家
・農村ライター/地域活動ライター
・ギタリスト
・ヨメに弱い子育て真っ最中の2児の父



Facebookでつながりましょう！

■主な講演実績

- (主なテーマ：体験観光・観光まちづくり・地域観光・交流等)
- ・農水省、観光庁、観光関連機関、観光団体
 - ・北海道(本庁・各振興局、農業改良普及センター ほか)
 - ・各自治体、各グリーンツーリズム組織関連団体
 - ・各JA、JA青年部、JA女性部(農村体験、民泊関連)
 - ・商工会研修会(まちづくり、地方創生)
 - ・まちづくり団体、自治会など ほか多数

■主な執筆実績

- ・月刊北海道経済コラム連載
- ・広報ひがしかわ「ひがしかわの観光イズム」コラム連載
- ・「農業体験受入Q&A集」(北海道協同組合通信社刊・監修共著)
- ・「月刊ニューカントリー」短期連載・寄稿
- ・「月刊 教育旅行」(公益財団法人日本修学旅行協会発行)
- ・「月刊現代農業」(農文協・北海道農業農村話題関連記事寄稿)
- ・「月刊AFCフォーラム」(「地域再生への助走」寄稿) ほか多数

(略歴)

中田浩康(なかだひろやす)

1975年生まれ 栃木県小山市出身 東京農業大学生物産業学部生物生産学科卒

・1997年に農業・農村関係の出版社である農文協((社)農山漁村文化協会)に勤務。在職中に、営業・取材等で全国幾多の農山漁村をまわり、地元農家をはじめそこで生活する多くの人々に触れるうちにそれぞれの地域ごとに持つ地域資源の多様性について感銘を受ける。

・2001年に出版社を退職しフリーの「農村ライター」として北海道を拠点に活動。
・2003年に同社の設立とともに入社。地域資源を活用した体験と観光を結びつけた受地主導型「観光まちづくり」ビジネスを展開。とくにグリーンツーリズムを中心に都市と農村の交流活動の企画を担当し、教育旅行での農家民泊体験、農業体験の受け入れをはじめ、各種体験プログラムの企画、開発をおこなう。

・また、地域特有の体験観光プログラムの企画開発をはじめ、観光客、団体、企業など対象に応じた体験ツアーや着地観光を推進。

・そのほか、地元学を通じた「観光まちづくり」として、各自治体や団体と連携し交流人口増加からの地域再生プロジェクトやまちづくり事業、観光人材育成等コンサルをおこなう。

・地域交流ビジネスとして独自の「6次観光化」を提唱。

・2012年より現職。

・2019年よりアクティビティ提供専門店「HAC(Higashikawa Activity Center)」開設

・講演、執筆活動多数

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

アグリテック

会社概要(アグリテックの4つの事業)

アグリテックは地域資源を活用し体験型観光を通し交流人口増加で地域活性化のお手伝いをする観光コーディネートビジネスを展開しています。

01 観光サービス事業

- 1) 体験プログラムの企画開発
- 2) ツアー/ワークショップ/イベント企画
- 3) メディア制作(写真・動画・ドローン・デザイン)
- 4) HAC(Higashikawa Activity Center)の運営
アクティビティの提供・レンタルサービス・ワークショップ・物販



02 教育旅行事業

- 1) 農業体験・農家民泊体験
- 2) 体験学習・探求学習
- 3) 人材育成・教材づくり(学習教材等)
- 4) 企業研修・団体旅行等の受入れ



03 まちづくり事業

- 1) 観光まちづくりコンサル・アドバイザー
- 2) 観光ガイド・コーディネーター育成
- 3) セミナー企画・移住定住・ワーケーション
- 4) サステナブルブランディング、SDGs



04 EV事業

- 1) レンタル・リース
- 2) 正規販売代理店
- 3) 観光活用(EVツアー等)
- 4) まちづくり(二次交通・グリースローモビリティ)



<事業基盤としての地域資源掘り起こしと活用>

地元のみなさんと「地元学」を通して、足元にある当たり前の凄さを再発見。
地域の宝、観光資源、地域資源を発掘し、それらをもとに観光コンテンツ化を図ります。

Copyright © Agri-tech Co.,Ltd All Rights Reserved

アグリテック

